

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK26)

(函館水試担当地区)

2014年12月18日

函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
静内 太平洋中部 19.0	12/9	0	11.5	33.99	0	0	0	0	0	
		10	11.4	33.99	0	0	0	0	0	
		20	10.5	33.96	0	0	0	0	0	
		30	10.1	33.90	0	0	0	0	0	
虻田 噴火湾東部 12.0	12/15	0	7.6	32.87	0	0	0	0	0	
		5	7.8	33.70	0	0	0	0	0	
		10	8.0	33.74	0	0	0	0	0	
		15	8.0	33.74	0	0	0	0	0	
		20	8.0	33.76	0	0	0	0	0	
八雲 噴火湾西部 13.0	12/15	0	7.5	33.75	0	0	0	0	10	Dt10
		5	7.5	33.77	0	0	0	0	0	
		10	7.5	33.77	0	0	0	0	0	
		15	7.5	33.77	0	0	0	0	0	
		20	7.5	33.76	0	0	0	0	0	
知内 津軽海峡 16.0	12/8	0	14.1	33.94	0	0	0	0	0	
		10	14.1	34.00	0	0	0	0	0	
		20	12.1	33.92	0	0	0	0	0	

*D.fortii=Dinophysis fortii ティノフィシス フォルティ; D.acum.=Dinophysis acuminata ティノフィシス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサントリウム =旧名 プロトコニオラックス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii

Dn=Dinophysis norvegica ティノフィシス ノルウェジカ, Dt= Dinophysis tripos ティノフィシス トリポス

Dm=Dinophysis mitra ティノフィシス ミトラ, Dc=Dinophysis caudata ティノフィシス コウダータ

Di=Dinophysis infundibula ティノフィシス インファンデブラ, Dru=Dinophysis rudgei ティノフィシス ルジエイ

Dro=Dinophysis rotundata ティノフィシス ロトゥンダータ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、太平洋中部、噴火湾東部、噴火湾西部、津軽海峡には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、噴火湾西部に出現しています。

下痢性貝毒プランクトンは、太平洋中部、噴火湾東部、津軽海峡には出現していません。

12月上旬の水温は、太平洋中部では10.1~11.5°C、津軽海峡では12.1~14.1°Cです。

12月中旬の水温は、噴火湾東部では7.6~8.1°C、噴火湾西部では7.4~7.5°Cです。

(担当: 吉田秀嗣・金森誠・佐藤政俊)